

野庭東小学校 学校運営プラン(短期学校運営計画)

計画期間

2007(平成19)年4月1日 ~ 2008(平成20)年3月31日

学校教育目標

「生き生きと活動し、ひびき合う東の子」を育成します。

- 子どもたちが生きる喜びを知り、生命を大切にするようにします。
- 子どもたちがおたがいを認め合い、思いやりをもって活動するようにします。
- 子どもたちが思いや願いをもって、自分らしさを発揮するようにします。
- 子どもたちがめあてをもって、粘り強く取り組むようにします。

学校経営方針

学校教育目標を実現し、一人ひとりを大切にできる魅力ある学校づくりをめざします。

- 児童理解と人権尊重教育を基盤にした学校づくりに努めます。
- 教職員の協働体制を確立し、教職員間のコミュニケーションを大切にされた学校づくりに努めます。
- 教職員が保護者や地域の人たちと共通の課題を設定し、連携して取り組む学校づくりに努めます。
- 学校再編・統合、新校開設にむけて、野庭小学校との実りある「交流」の取組を推進するように努めます。

指導の重点

- 確かな学力を身に付けるために、各教科の学習指導を充実させるように努めます。
- いじめを見逃さず、いじめをなくす体制づくりに努めます。
- ふれあい活動を軸に、異年齢の友達や地域の人たちとの交流を深め、社会性や人間性を育みます。
- 学校再編・統合により、子どもたちが不安感をもたずに新校開設ができるような取組をします。

改善の視点

取組目標

○子どもたちが確かな学力を身につけるためには、教科等の指導を充実していく必要があります。

○教師一人ひとりが自己目標を設定し、授業実践の成果と課題を明らかにする中で授業力を高めるようにします。

- ・ 評価基準を検討し、評価を次の支援・指導に確実に生かすように工夫します。
- ・ 学年研究会で授業実践における支援や指導の在り方を継続して検討します。

○子どもたちのコミュニケーション能力が不十分なことが指摘されています。コミュニケーション能力を高めて、社会で生きていくための力の育成が必要です。

○「ふれあい活動」を軸に、子どもたちが異年齢の友達とも協力して課題に取り組み、地域の人たちから学び、ふれあう場をさらに充実するようにします。

- ・ 校内における「ふれあい活動」とともに、幼保小の連携をめざし、子どもたちが幼稚園や保育園に出向くことも含めた取組をします。
- ・ 地域の人たちから学ぶ取組と地域の人たちと協力して取り組む場面を設けます。

○児童が安心して豊かな学校生活を送るためには、児童理解と外部の関係機関も含めた、さまざまな立場での対応を連携させて取り組んでいく必要があります。

○また、子どもたちの安全を確かなものにするために、子どもたちへの見守り活動をさらに充実させていく必要があります。

○特別支援教育校内委員会を中心とした特別支援教育を推進し児童理解と支援体制の充実をはかります。

- ・ 定期的開催している校内委員会、学年研究会、児童指導に関わる報告会や学習会の在り方を検証し、充実させた取組にします。
- ・ 定期的な面談や家庭訪問に限らず、保護者との話し合いを積極的に行います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校カウンセラー、主任児童委員等からの意見も前向きに受け止めていくための話し合いの場を設けます。 ・ 昨年度結成された「学援隊」との連携を密にし、定期的な話し合いの場を設けていきます。
○野庭小学校との再編・統合、新校開設にむけて、子どもたちが不安感をもたずに前向きな取組をすることが求められています。また、小中連携に向けて野庭中学校との連携を検討していく必要もあります。	◎野庭小学校との「交流事業」を推進し、希望をもって新校開設ができるようにします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校と野庭小学校の年間「交流」計画を検討し、今まで交流してきた取組の確認と、今後、交流可能な取組について具体的に作成し、19年度はさらに前向きな交流をしていきます。 ・ 野庭すずかけプロジェクトチームが、交流の計画・立案と成果と課題について検討し、継続して取り組んでいきます。 ・ 野庭中学校との連携を検討していきます。

人材育成の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童指導に関して、さまざまな課題への対応が求められています。教育委員会主催の研修を活用するとともに、学校カウンセラーと話し合う機会をさらに充実させて、児童指導担当教諭をはじめとして教職員一人ひとりが力を付けるための研修を計画的に行います。 ・ 教職員それぞれの役割と分担を明確にして、チームとして動ける人材育成を具体的事例に取り組む中で行い、報告しあいます。
平成19年度の重点取組項目	◎授業研究会を年間を通して実施し、教師の指導力を高めることを通して、子どもたちの学力が向上するようにします。 ◎いじめを見逃さず、いじめをなくす取組を充実します。 ◎「ふれあい活動」を軸にした取組を通して、子どもたちのコミュニケーション能力を育成します。 ○各学年の「安全教育の日」の取組をはじめとして、「学援隊」とも連携した安心・安全な学校づくりを推進します。
これまでの取組結果	○子どもたちの学力の向上と教師の指導力の向上を目標に授業研究(国語科を軸に全教師が公開授業と事後研究会を講師を招いて行う)に年間を通して取り組み、特に子どもたちの「表現する力」の育成に役立てることができた。 ○いじめを見逃さず、なくすために、「学校経営計画」に「問題行動」の実態把握と学校体制として取り組むための「系統図」等を載せ、職員の共通理解とトラブルやいじめの早期解決に職員が連携して取り組むことで効果をあげている。 ○「ふれあい活動」に関しては、全校の取組である空き缶回収をして、地域の施設に車いすを送る活動は、地域にも呼びかけを広げることで成果をあげ、また、異年齢のグループによる全校遠足等の取組もさらに充実した取組となった。 ○「学援隊」は地域の人たちの協力体制の輪が着実に広がり、登下校時に毎日、ローテーションを組んで子どもたちの見守りをしている。また、学校行事や登下校時刻の確認等を行う月1回の定例会が定着し、学校との連携も確かなものになってきた。
教育懇話会等の意見	再編・統合校の設置にむけて、2006(平成18)年11月、12月に開かれた「野庭地区学校再編検討委員会」よりいただいた主な意見は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2校の交流活動の充実を図り、子どもたちが心身共にスムーズに統合校に入れるようにしてほしい。 ・ 登下校時、通学路での安全を確保するために見守り活動の充実を図ってほしい。 ・ 統合すると、一つの小学校から一つの中学校に進学するので、小中一貫教育の検討をしてほしい。